

ツェツルデメルク

「Celldömölk」



位置: ハンガリーの西部「Nyugat-Magyarország」、ヴァシュ県「Vas megye」

県都はソンバトヘイ「Szombathely」。ツェツルデメルクはソンバトヘイから 42km のところにあります。

人口: 11,247 人 (2009 年)

広さ: 52,39km²

ツェツルデメルクにはローマ帝国時代(紀元前 27 年から 476 年/480 年まで)から人が暮らしていました。

ツェツルデメルクの町は 1904 年に五つの町として成立しました。これはポウルデメルク「Pördömölk」とネメシュデメルク「Nemesdömölk」とキシュツェッセル「Kiscell」とアロシヨシャーグ「Alsóság」とイザクファ「Izsákfa」でした。ポウルデメルクは大修道院の所在地、ネメシュデメルクは貴族の町、キシュツェッセルは巡礼地、そしてアロシヨシャーグとイザクファは農奴の村でした。

この 5 つの町が 1 つになってツェルデメルク「Celldömölk」となりました。そしてツェツルデメルクは 1979 年に町のステイタスをもらいました。ツェツルデメルクの名前はポウルデメルクとネメシュデメルクとキシュツェッセルを合わせたものです。

歴史「町の基本データ、名前の由来」

現代のツェルデメルク「Celldömölk」の町は5つの町が合併してできましたが、その5つの町の中でもポウルデメルク「Pördömölk」とアロショシャーク

「Alsóság」とイザクファ「Izsákfa」が一番古い町です。これらの町にはローマ時代には人々が住んでいたらしいです。アロショシャークは13世紀ごろから農民が住んでいました。アロショシャークはシャーク「Ság-hegy」と言う山の下にあり、一番大切な産業はブドウ栽培でした。イザクファは農民と名主の村であったそうです。

その後、イザクファとアロシャークはポウルデメルクに組み込まれました。

ポウルデメルク「Pördömölk」は教会の私有地でしたが、あとで僧院の町になっていきました。ネメシュデメルク「Nemesdömölk」は1400年ごろできた町で、ポウルデメルクはカトリック教の町だったのに対し、ネメシュデメルクではプロテスタントのカルビン教会の町でした。それで二つの町の宗教家は自分の宗教を広げるために戦い、実際戦闘もあったそうです。

五番目の村は昔デメルク「Dömölk」と呼ばれた村です。この村はその後キシュツェル「Kiscell」になり、キシマリアツェル「Kismáriacell」とも呼ばれました。キシマリアツェルの名前はマリア崇拜から来たもので、この村は巡礼地でした。



1904年にポウルデメルク「Pördömölk」とネメシュデメルク「Nemesdömölk」とキシュツェル「Kiscell」はツェルデメルク「Celldömölk」と言う町になりました。しかし、実際に町のステータスを得たのは1979年になってからでした。

有名な人物



Berzsényi Dániel「ベルゼニダニエル、1776-1836」：このハンガリーの有名な詩人はツェルデメルク「Celldömölk」のそばにあるエギュハザシュヘチェ「Egyházashetye」と言う村で生まれました。詩人はツェルデメルクが大好きでした。詩の主題の多くはツェルデメルクの地方 - 例えば：シャーク山「Ság-hegy」- でした。それで、町は詩人が自分の町の有名人と思っています。

Berzsényi Dániel の写真



Kresznerics Ferenc 「クレスネリチュフェレンツ、1766-1832」：有名な語学者でした。Kresznerics Ferenc の写真（左）

Németh Andor 「ネーメトアンドル、1891-1953」：近代の有名な詩人作家でした。Németh Andor の写真（右）



Eötvös Lóránd 「エオトヴォシュ・ローラード、1848-1919」：物理学者、ハンガリーの科学的アカデミー「MTA = Magyar Tudományos Akadémia」のトップでした。「エオトヴォシュのふりこ」という有名なそくていきをこの物理学者はシャーグ山で初めてためしました。



名所の説明

町の駅の園では三つ汽車の展示を見るのことができます。



宗教：

中心の公園で新しい噴水が建てられました。噴水のとなりは Koptik Odó 「コプチクオドー、1692-1755、修道院長」の新しい像もあります。噴水の後ろに聖母マリア「Szűz Mária」の井戸とマリア教会と修道院があります。現在町役場になっている建物はもともと修道院でした。



1933年は修道院ができて800周年で、1999年には聖母マリアの井戸が新しくなりました。修道院ができた800年前、僧侶はPannonhalma「パンノンハルマ」から来ました。。そのとき僧侶は聖母マリアの像を持ってきましたが、人々はこの像を奇跡の像と信じました。それでたくさんの巡礼者がツェルデメツルクにきました。この像のおかげでKoptikOdóは1748年に教会を建てることができました。なお、教会の後ろには1755年に建てられたカルワリーがあります。

町で一番信じられている宗教はカトリック教と福音教です。ツェルデメツルクには五つの教会があります。

町の公園の真ん中に三位一体の像を見つけることができます。公園の前には市民会館があって、その中には Soltis Lajos「ショルチシュラヨシュ」劇場もあります。町の祭りは市民会館前の広場で催されます。

Vulkán Fürdő「火山風呂」:

ツェルデメツルクとシャーグ「Ság」の間にあります。バスや車で早く行くことができますが、散歩しながら行くのも気持ちがいいです。2005年に建てられました。入浴中に昼間はシャーグ山「Ság-hegy」、夜は星空が見られるかもしれません。



Ság-hegy「シャーグ山」:

この山は500万年前の火山噴火でできました。この山とシャーグ「Ság」地方は国立公園となっています。山の真中には火口があります。その火口では町の「火口合奏団」が公演します。山の上には白い十字架が立てられています。291メートルの標高にあるこの十字架は1934年にトリアノン条約を記念して建てられました。

山の上にはシャーグ山の博物館もあります。博物館の開館時間は夏には火曜日から金曜日までの10時から午後4時まで、そして土曜日の10時から午後2時までです。



ホテル、ペンション

Vasvirág Hotel 「ワシュビラーグホテル」 :



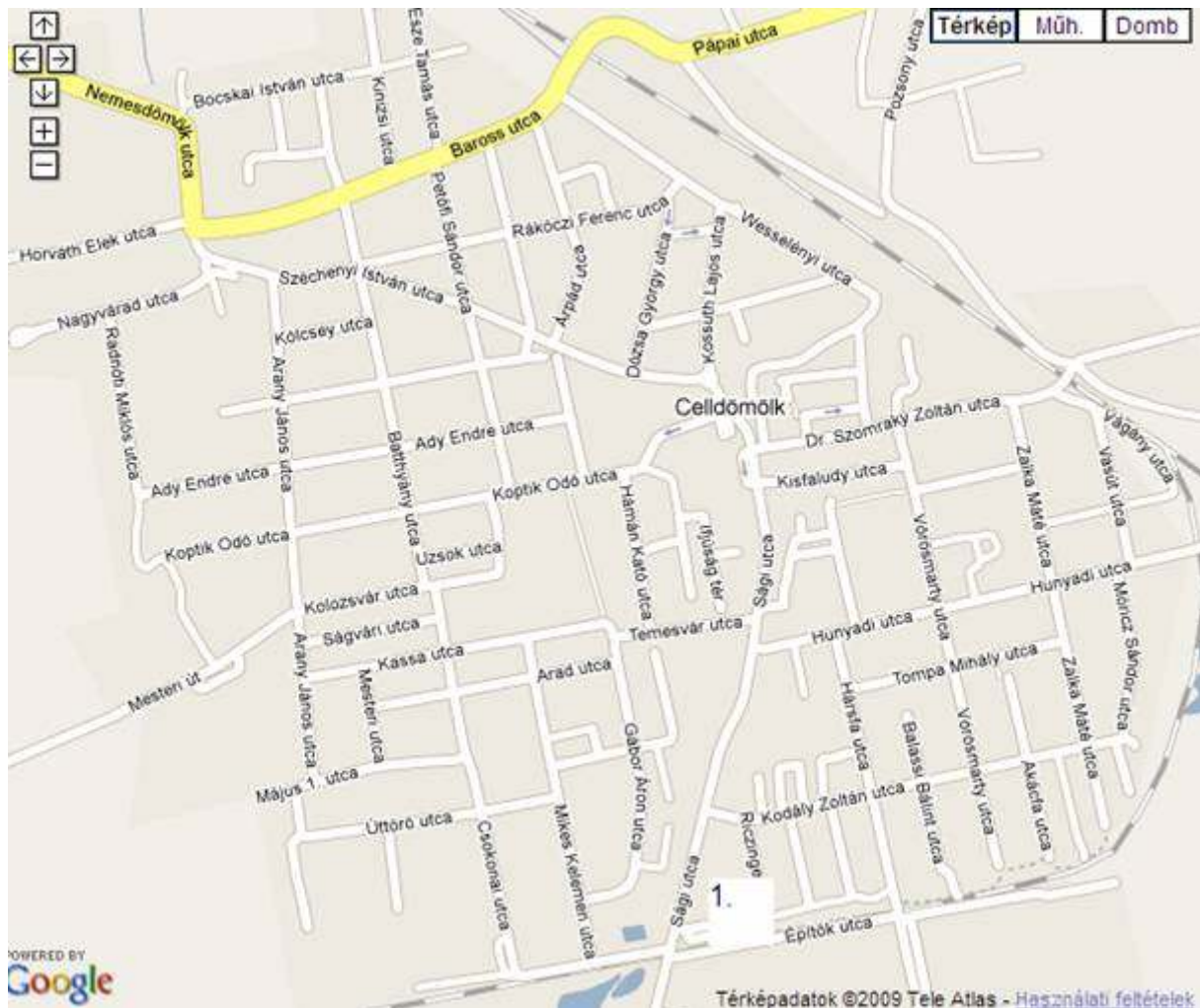
中心から十五分歩くとあるホテルは地味ですが、安くて快適な所です。2-3 ベッドそして3-5 ベッドの部屋があります。近くにデパートもあります。

住所: Sági út 56.

電話番号: 95/424-125

メール: vasvirag@cellkabel.hu

サイト: <http://www.vasviraghotel.mindenkilapja.hu>



1. Vasvirág Hotel 「ワシュビラークホテル」

Sághegy Fogadó 「シャークヘジ宿屋」:

シャーク山「Ság-hegy」の上にある宿屋は景色が素晴らしいです。バスや車でも行くことができます。2-3 ベッドがある部屋で、部屋によってテレビもインターネットもあります。

住所: Ság hegy

電話番号: 95/420-104, 30/348-6576

メール: saghegy.fogado@cellkabel.hu

サイト: saghegy.fogado@cellkabel.hu



レストラン、居酒屋、喫茶店

Korzó Kávézó 「コルゾー喫茶店」:

町を訪ねる時、コーヒーとあついチョコレートを飲みたくなったり、アイスピザやホットサンドイッチが食べたくなったら、町の中心にある Korzó 喫茶店がおすすめです。Korzó 喫茶店では平日には学生が集まっています。喫茶店でいつもラジオの音楽を聞くことができます。



住所: Dr. Géfin Lajos tér 「広場」 12.

営業中: 9:00-22:00

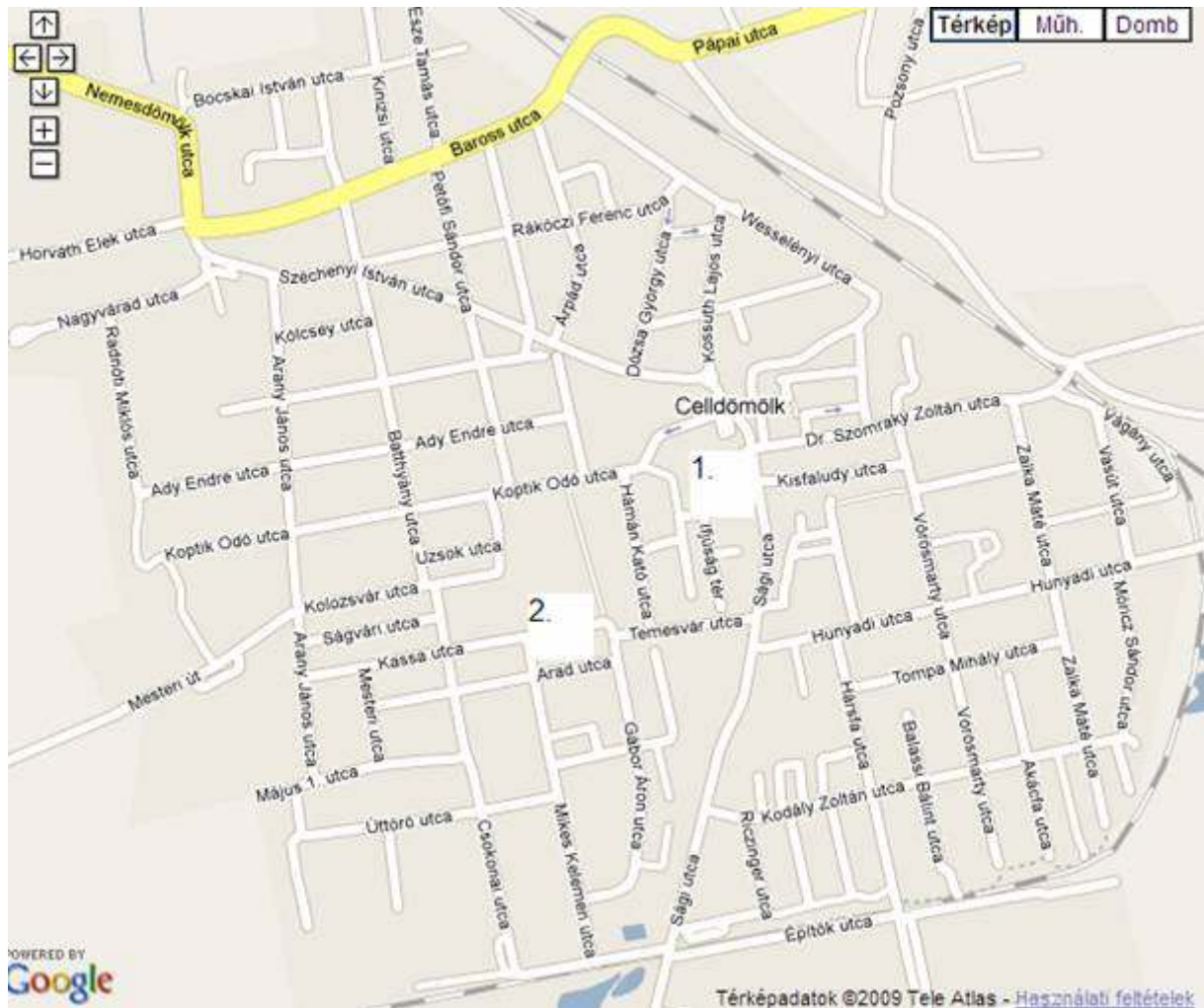
電話番号: 06-25-555-663

Holsten Söröző és Étterem 「ホルステン居酒屋とレストラン」 :

レストランは中心に近いところにあります。定食もあります。値段はちょっと高めですが、美味しいです。

住所: Temesvár u. 5.

電話: 95/422-501



1. Korzó Kávészó 「コルゾー喫茶店」

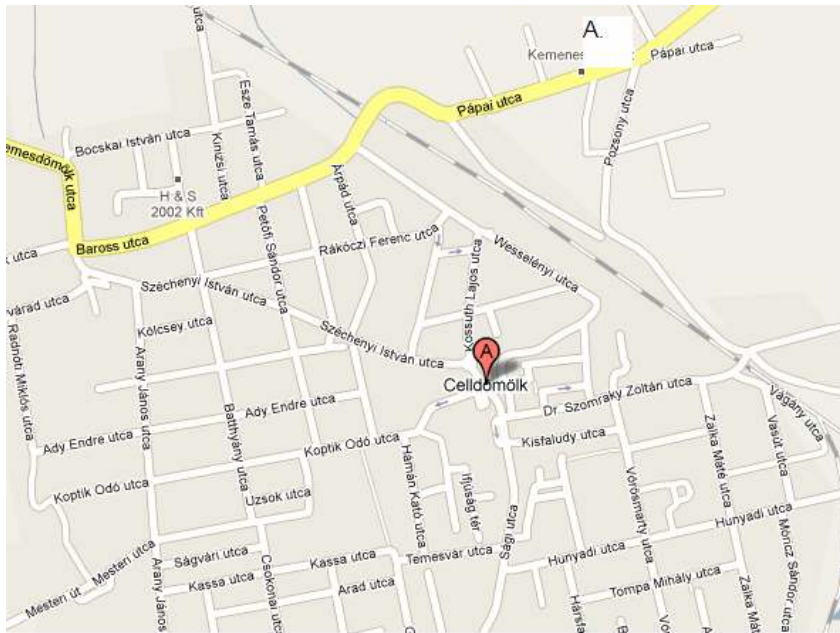
2. Holsten Söröző és Étterem 「ホルステン居酒屋とレストラン」

Aranykerék Vendéglő 「アラニューケレーク食堂と宿屋」：

上品で高級なこのレストランは町の外れにあって、車で行くことをお勧めします。

住所：Pápai út 16.

電話：95/420-591



A. Aranykerék Vendéglő 「アラニューケレーク食堂と宿屋」

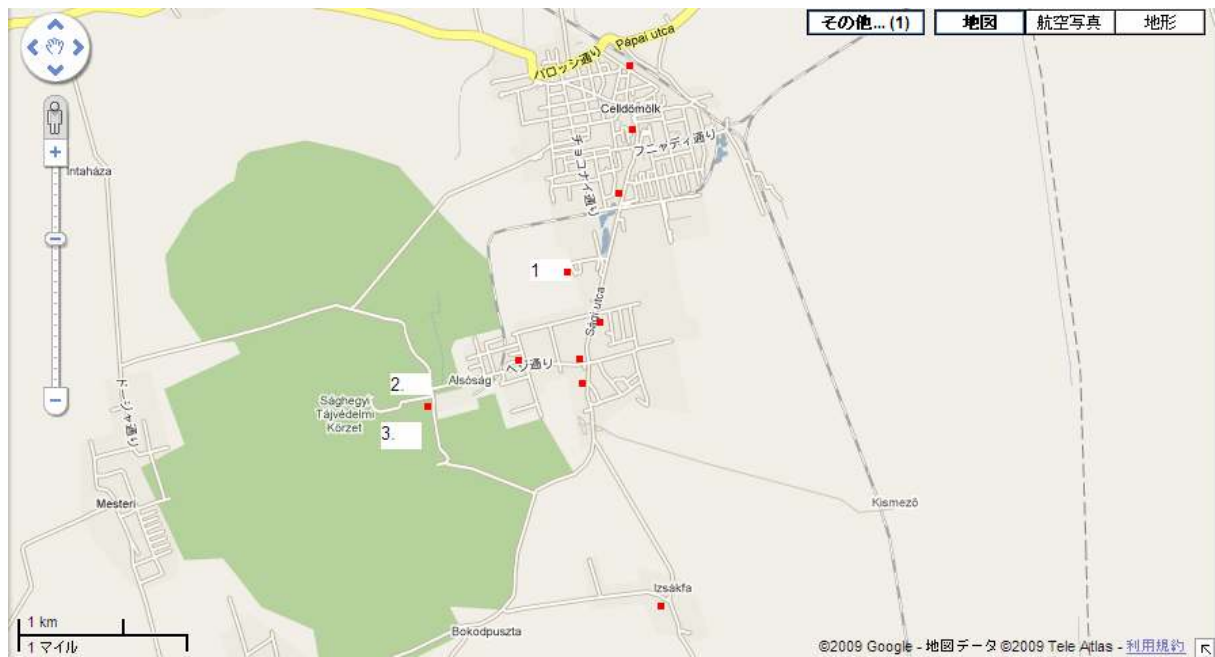
町の歩き方

町への入り方：

車で来る観光客は南は Jánosháza 「ヤノシュハーザ」と言う町から、北は Pápa 「パーパ」から、そして西は Sárvár 「シャルヴァール」からツェルデメルクに入ることができます。

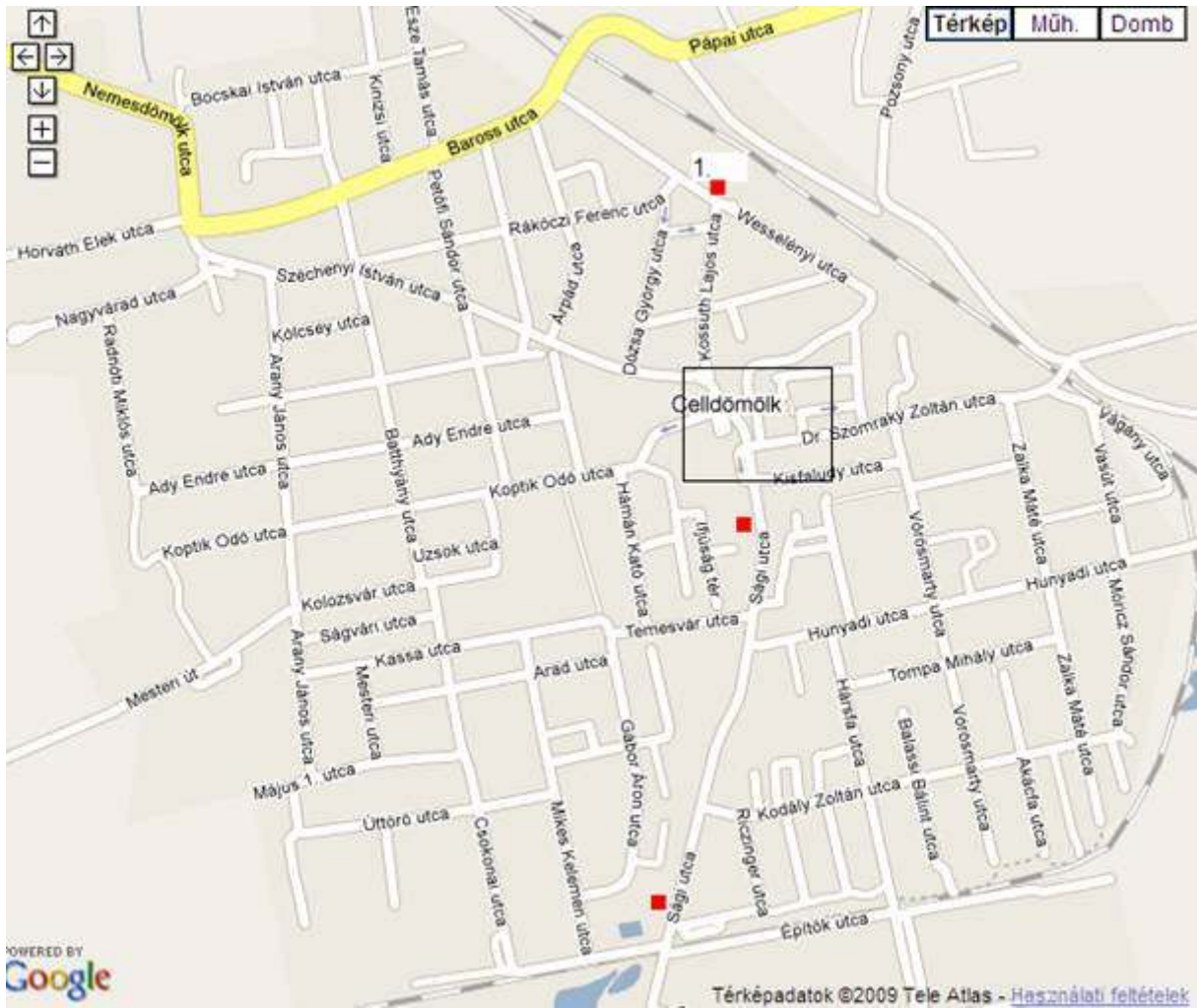
電車の場合は、「Budapest」南駅、そして東駅から出発します。ジュール経由ソンバトヘイ行きなどで行けます。





1. Vulkán Fürdő 「火山風呂」
2. Ság-hegy 「シャーグ山」
3. トリアノン 「Szent Háromság」 の記憶

赤い目印はバスストップの場所です。



1. 駅

赤い目印はバスストップの場所です。



町の中心:

1. 郵便局
2. カトリック教会
3. 聖母マリア「Szűz Mária」の井戸
4. 修道院
5. 三位一体の像
6. Korzó Kávézó「コルゾー喫茶店」
7. 市民会館

駅から町の中心にはバスでも歩きでも行けます。歩いて駅から10分で Kossuth Lajos utca「コッシュトラヨシュ通り」に着きます。そして2番目の交差点を左に行くと中心に着きます。中心の南側にバスストップがあります。そこからシャープ山行きのバスで Vul-kán Fürdő「火山温泉」へ行ることができます。終点から山の上の方に歩くと、火口へ続く山道が見つかります。バスのチケットの値段は135Ft くらいです。

町の歩き方: 写真



駅



この交差点を左に行くと中心に達する



カトリック教会の写真



修道院



聖母マリア「Szűz Mária」の井戸



Kálvária 「カルワリア」



教会の公園



聖母マリアの像



三位一体の像



市民会館

町の色んな顔:





学校（複数あります）



コンセルバトワールのビル



ハンガリーの有名な“Apaczai Kiadó”「アパーツァイ出版社」の本社はツェッルデメルクにあります。本社ビルの隣には第二次世界大戦を思い出す像があります。